

博士(文学)学位請求論文審査報告要旨

論文提出者氏名	井出野 尚
論文題目	潜在的連想テスト(Implicit Association Test)のリスク認知への応用
審査要旨	<p>本博士(文学)学位請求論文は、リスク認知に対する潜在的連想テスト(IAT)の応用可能性を検討することを目的とし、IATを用いた5つの実験と、潜在的リスク・マップ作成方法の提案とその適用例で構成されている。2章では、これまでのリスク認知研究における理論的枠組み、研究方法の特徴の検討を行い、実験参加者の意図的な制御可能性の低い測定への要請と、概念間の連想構造の測定への要請といった問題提起を行った。3章では、上記要請に適合する課題としてIATを位置づけ、リスク認知研究への導入を試みた。IATは差別などの態度研究に用いられてきた課題であり、リスク認知研究にはこれまでほとんど用いられていなかった。そこで、3章ではこれまでのリスク認知における代表的なリスク事象である、原子力発電の潜在的な概念間の連合の測定を目的として、2つのIATを用いて実験的検討を行い、顕在尺度の測定結果との対比を行った。IATの結果と顕在尺度の結果との間に乖離が報告された。4章では、3章においてみられたリスク事象を題材としたIAT効果の特徴の更なる検討のため、原子力発電・水力発電・地震という3つのリスク事象を対象とした3つのIATを用いて、2005年、2006年、2007年に実施した3回の実験結果を比較検討した。実験結果から、IATによる測定が一貫した傾向を示したこと、3章の結果同様に顕在尺度との間に乖離が認められたことを報告した。5章では、潜在的リスク・マップの作成方法を提案し、IATのリスク認知研究における新たな可能性を示した。これらから、リスク事象を題材としたIATにおいて、顕在尺度と異なる個人的な概念間の連想構造が反映されたことが示唆された。本論文では、最後に認知処理の2過程説に実験結果を位置付けることを試みた後に、リスク関連領域と他の領域におけるIATの応用的な利用方法について議論を行い、今日の情報環境における潜在的測定の意義について検討を行っている。</p> <p>本論文では、顕在尺度によるリスク認知の測定に加えて、IATによるリスク認知の測定を提案することで、顕在的処理によるリスク認知と潜在的処理によるリスク認知を測定し、リスク認知を多面的に検討しようとしたと言える。特に顕在尺度によるデータは、新聞などから得た知識や情報に依存する傾向があるのに対して、IATデータは、個人の知識構造(i.e., 概念間の連想ネットワーク)を反映したものであると考えられる。</p> <p>本論文は、従来、意識的な熟慮プロセスを前提として計測されてきたリスク認知に対して、人間の認知プロセスにおける近年の研究成果を反映し、感情や過去の経験などの潜在的な要因の影響を解明するために、潜在的連想テストの応用可能性を丁寧に分析したものである。先行研究によって形成されたリスク認知研究の知見に対する意欲的なチャレンジであると同時に、原子力発電と地震を中心的に扱っており、3.11後の社会問題にも示唆を与える内容である。</p> <p>本論文で示された、人のリスク事象のマッピング結果は大変興味深いものの、研究データが少ない上に異なる評価軸が示されているため、概念および手法の一般化には程遠く、社会問題の解決やブランド戦略などの個別データの活用のためには実験手続きが煩雑すぎるという問題点もあった。マップ化の意義についてはさらなる検討が必要かもしれない。このように、全体としての本博士論文の成果は、有益なものとは言え、IATの適用可能性を論じるための端緒にすぎないかもしれない。特に、既存のリスク認知研究との接合は仮説の域を出ないものであり、今後多くの研究が蓄積される必要がある。</p>

氏名 井出野 尚

上述のとおり、本論文は目的であった応用可能性の検討にはまだ検討する余地を残してはいるが、既存のリスク認知研究の枠組みでは扱えていなかった潜在的な心的作用に光をあてた初めての研究であり、問題設定の独創性、研究内容の信頼性ともに高く評価できる研究である。よって、本論文は、心理学におけるリスク認知研究における新しい方法論を提示しており、博士(文学)学位の授与にふさわしい論文と判断した。

公開審査会開催日	2017年 1 月 25 日			
審査委員資格	所属機関名称・資格	氏名	専門分野	博士学位名称
主任審査委員	早稲田大学文学学術院 教授	竹村和久	社会心理学・行動意思決定論	博士(学術)東京工業大学 博士(医学)北里大学
審査委員	早稲田大学文学学術院 教授	日野泰志	認知心理学、言語心理学	Ph.D. in Psychology (西オンタリオ大学)
審査委員	HSE リスク・シーキューブ・事務局長	土屋智子	リスク・コミュニケーション	博士(工学)大阪大学
審査委員				
審査委員				